

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和5年 7月 13日

事業所名:きぼうっこ山本

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	療育を実施する部屋、自由時間を過ごす部屋、宿題をする部屋等、それぞれの活動に合わせたスペースを確保している。 療育内容(SST、音楽療法、学習支援)に合わせた部屋のスペースは確保できている。	「はい」:84% 「どちらともいえない」:7% 「いいえ」:0% 「わからない」:9% 「無回答」:0% ・コロナの関係もあり、事業所内を見たことがないのでわからない	必要のないものは、棚などにしまって保管することで、活動スペースを確保している。
	2 職員の適切な配置	基準の職員以上の職員を配置している。 療育内容(SST、音楽療法、学習支援)に合わせて、保育士、心理担当職員や音楽療法士を配置している。	「はい」:81% 「どちらともいえない」:5% 「いいえ」:0% 「わからない」:14% 「無回答」:0%	職員配置については、契約時に重要事項説明書で説明し、年度初めに、書面を配布して、職員の職種も含めて紹介を行っている。 職員の異動に伴っての配置や加算が変更になった場合は、書面を配布して変更点について説明を行っている。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	子どもの特性を把握し、各クラスで療育時の椅子の配置や環境設定を行い、集中して療育に参加できるようにしている。 視覚支援が優位な子どもが多いので、必要に応じてイラストを用いてルール等を提示している。	「はい」:77% 「どちらともいえない」:7% 「いいえ」:0% 「わからない」:16% 「無回答」:0% ・かわったところ改善した部分などがあれば報告があったらいいと思う	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、日々の清掃や消毒は、より丁寧に行うことで、感染予防対策を徹底し、感染症の拡大防止に努めている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新型コロナウイルス感染症の感染予防として、毎日清掃、消毒を行い、各部屋に空気清浄機を設置している。 階段や大きな窓には、柵や補助鍵などを設置し、家具の角には緩衝材を取り付けることで、安全に過ごせるようにしている。		引き続き、子ども達の状況に合わせた環境設定を行い、清潔で安心・安全に過ごせるように努めていく。 また、視覚支援などは、わかりやすいツールを用意することで、子ども達が安心して、楽しんで療育に参加することができるようにしていく。

業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	改善提案などを定期的に作成したり、法人内で部門別業務目標管理シートを活用し、課題や目標について定期的に振り返っている。 また、SSTはスタッフトレーニングを行い、すべての職員が同じ質の療育を実施できるようにしている。		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部講師によるコンサルを受け、療育の質の向上に努めている。		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部講師を招いての研修や法人・事業所内での研修に参加している。 研修計画に基づき、外部研修にも参加している。		
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもと保護者の意向や要望を聞き取り、職員間で担当者支援会議を実施し、子ども一人ひとりのニーズに合った目標を設定し、計画を作成している。		
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	学習支援は、職員と1対1での個別対応をしており、一人ひとりのペースや課題に合わせて療育を実施している。 SST療育や音楽療法は、集団活動の中で子ども一人ひとりに必要なスキルを獲得できるような目標設定をし、計画を作成している。	「はい」:95% 「どちらともいえない」:5% 「いいえ」:0% 「わからない」:0% 「無回答」:0%	日頃から子ども達の様子を観察し、子ども自身や保護者からのニーズに対応しながら目標を設定し、計画を作成していく。 担当者支援会議を実施し、職員全員で共有し、支援を行っていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	SSTでは、ソーシャルスキルの尺度を4領域(集団行動、セルフコントロール、仲間関係、コミュニケーション)に分け、必要となる領域のスキルを目標として設定し、具体的な支援方法をわかりやすく計画書に記載している。		

適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画、特別支援計画に沿って必要な支援を実施している。		
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	子どもの様子を観察し、療育内で集めたデータを基に、時間を決めてミーティングを実施している。ミーティングや日頃の振り返りの中で取り上げられた問題点等があれば、改善方法を話し合い、改善をしている。	「はい」:81% 「どちらともいえない」:14% ・2~3つの目標に対して、具体的にどのようなプログラムが実施されているか分からない。 「いいえ」:0% 「わからない」:5% 「無回答」:0%	引き続き、子どもの特性やクラスの様子に合わせて療育内容を考案していく。 子ども達が楽しみながらスキルを身に付けられるような内容を検討し、実施していく。 感染症対策をしながら少しずつ家族参加型の行事を再開していく。 日頃の様子を保護者の方にも見ていただけるように参観も検討していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日:SST療育、学習支援を実施している。 (SST療育では月に1回季節に合わせた行事を開催) 土曜日:音楽療法、学習支援を実施している。 長期休暇時:夏祭りやお別れ会などの季節に合わせたイベントを考え、実施している。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子ども達の状況を観察し、その状況に合わせた内容を職員間で話し合い、意見を出し合い、飽きないように工夫をしながらプログラムを実施している。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日の午前中に、クラス担当者が活動の流れや目的を説明し、必要であればシミュレーションを行っている。職員の配置や役割分担も事前に伝えておくことでスムーズに支援を行えるようにしている。 非常勤職員に対しても同じように流れや対応方法なども周知している。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に、その日の子ども一人ひとりの様子について、スキルの習得状況について職員全員で振り返りを実施している。 改善点等についても話し合い、次回に生かしている。		

	10	日々の支援に關しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	評価表を使用し、個別の評価と様子を記入し、記録している。 支援内容、その日の子どもの様子を一人ひとりケース記録として残している。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	(最低)6ヶ月に1回モニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援事業所と連絡を取り、情報の共有を行っている。 サービス担当者会議に参加している。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	計画相談事業所を通じて、小学校での様子やきぼうっこでの計画・支援内容・方法の情報の共有を行っている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者から依頼があった場合は、情報の提供を行っている。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の促進	保護者向けの研修の案内があれば、玄関に掲示したり、配布物として配るなどの手段でお知らせしている。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在は実施できていない。		
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			

保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に、重要事項説明書で説明している。		引き続き、丁寧に内容を説明していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別面談(30分)を実施し、支援内容を説明している。 令和4年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、非対面(電話、Zoom)での面談を行った。	「はい」:96% 「どちらともいえない」:4% 「いいえ」:0% 「わからない」:0% 「無回答」:0%	職員の異動に伴い、配置や加算が変更になった場合は、書面を配布して変更点について説明を行っていく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施できていないが、保護者から相談のあった場合は、保護者の話をよく聞き、必要に応じて子どもへの対応方法についての助言を行っている。	「はい」:93% 「どちらともいえない」:5% 「いいえ」:0% 「わからない」:2% 「無回答」:0%	日頃から子ども達と接することで、状況の把握や観察をし、保護者に様子を伝えられるようにしておく。 また、子どもの特性についても理解を深めておく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	自己送迎:当日の子どもの様子や療育内容などをフィードバックしている。 送迎利用:個別面談の際に子どもの様子を伝えている。必要に応じて連絡帳や電話で個別に連絡を行うこともある。		
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	来所時、電話、個別面談の際に相談を受けることが多い。 その場で答えることが難しい場合は、職員間や関係機関と話し合いを行い、その内容を保護者に確実にフィードバックするようにしている。	「はい」:84% 「どちらともいえない」:9% 「いいえ」:7% 「わからない」:0% 「無回答」:0% ・特に必要がなかった ・季節の変わりめや毎回言葉にする暴言があれば報告してほしい	引き続き、相談があった場合は丁寧に対応できるようにしておく。 個別面談以外でも相談できるように、事業所内相談支援を実施する等して対応していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	例年、保護者会やWEBカメラでの参観を開催していたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となった。	「はい」:31% 「どちらともいえない」:16% 「いいえ」:18% 「わからない」:30% 「無回答」:5% ・コロナ禍だったので行事はむずかしいと思います ・コロナで中止になっている ・また保護者会を開催してほしいです	新型コロナウイルス感染症が流行しているため、保護者参加型行事が実施できなかったが、感染状況を見ながら、できる範囲で再開していく。

保護者への説明責・連携支援(続き)	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する窓口を設置している。 第三者委員を設置し、契約時に説明をしている。 また、玄関に連絡先を掲示し周知している。	「はい」:88% 「どちらともいえない」:3% 「いいえ」:0% 「わからない」:7% 「無回答」:2% ・時間が限られているため難しいと思う	丁寧かつ親身になって対応することで、苦情につながることはないようにしておく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	毎回療育の最後に利用者全員が「ふりかえりノート」に当日のプログラムを記入し、ご自宅で療育内容を確認することができるようにしている。 保護者とは連絡帳やメール、電話などを使用し情報交換を行っている。	「はい」:89% 「どちらともいえない」:5% 「いいえ」:0% 「わからない」:4% 「無回答」:2%	引き続き、連絡帳や「ふりかえりノート」を活用していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	法人の広報誌「きぼう号」を発行している。 法人のホームページのトピックスを更新している。 イベント開催時には、事前にお知らせを配布している。 「きぼうっこ便り」にホームページのURLをQRコード化し、記載している。	「はい」:75% 「どちらともいえない」:5% 「いいえ」:0% 「わからない」:18% 「無回答」:2% ・ホームページを見ていない ・ホームページが更新又はリニューアルの報告はない	年度初めに、年間行事予定表を配布している。 ホームページを定期的に更新し、療育の内容をお知らせしていく。 ホームページを更新した際には、玄関にそのことを掲示してお知らせする。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	外部見学者には個人情報取り扱いの同意書を記入して頂き、記録などではイニシャルなどを使用し個人が特定できないようにしている。 個人情報が記載してある書類を破棄する時は、必ずシュレッダーを使用している。 個人情報の入った書類は、保管庫にて鍵を施錠して保管している。	「はい」:88% 「どちらともいえない」:0% 「いいえ」:0% 「わからない」:12% 「無回答」:0%	引き続き、適切な取り扱いを行っていく。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時対応マニュアル(災害、事件、事故、自殺、苦情)を策定しており、職員への周知はできているが、保護者への周知はできていない。	「はい」:89% 「どちらともいえない」:4% 「いいえ」:0% 「わからない」:7% 「無回答」:0%	それぞれのマニュアルについて職員間で周知を徹底し、保護者にも面談を通して知らせていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	最低年に2回、避難訓練(火災・地震)を実施している。	「はい」:93% 「どちらともいえない」:0% 「いいえ」:0% 「わからない」:7% 「無回答」:0%	平日の療育でしか実施できていなかったため、土曜日にも実施する。

非常時等の対応	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	法人内研修に参加している。 虐待防止チェックを定期的を実施し、各自で対応方法を振り返るようにしている。 非常勤職員に対しても研修資料を回覧してもらい、徹底している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在は身体拘束を行っていないが、行動制限等を行う場合は必ず事前に保護者に相談を行い、了承を得た上で実施していく。 またその内容を適切に記録して残しておく。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者へ年に1度アセスメントシートで聞き取りを実施し、把握している。 クッキングなどの行事の際は使用する材料を全員に事前に伝え、アレルギー等の確認を再度行っている。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	記録に残し、法人内、事業所内で共有し、改善案を検討し実施している。		
満足度	※	子どもは通所を楽しみにしているか	個々の子どもの状況や特性に合わせたクラス編成、支援を行い、楽しく通所できるよう療育内容を工夫したり、行事の充実を図っている。	「はい」:84% 「どちらともいえない」:10% 「いいえ」:2% 「わからない」:2% 「無回答」:0% ・金曜日をとても楽しみにしています	子ども達の意見も取り入れながら楽しんで通所できるような環境設定を行っていく。 できることを少しずつ増やしていけるように、スモールステップで目標を達成できるように支援を続けていく。
		事業所の支援に満足しているか		「はい」:91% 「どちらともいえない」:5% 「いいえ」:0% 「わからない」:2% 「無回答」:2%	